

## 第8回 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の これからを考える委員会 会議録

日時 令和2年1月10日（金）12時00分から15時00分まで

場所 茨城県総合福祉会館2階 ボランティア会議室

出席者 10名

- ・県北支部 菅野 秀行（支部長：日立市）
- ・那珂支部 浅野 健一（職連協会長・支部長・理事：那珂市）  
大宮 武富（代議員：ひたちなか市）
- ・中央支部 菊池 みか（支部長・理事：水戸市）
- ・鹿行支部 遠峯 茂（支部長：鹿嶋市）
- ・県南支部 中村 真聡（代議員：かすみがうら市）
- ・県西支部 柴田 優（支部長：常総市）
- ・稲北支部 清水 昌樹（支部長・理事：牛久市）
- ・事務局 中村 英一（県社協福祉のまちづくり推進部部長）  
篠原 嘉（県社協福祉のまちづくり推進部推進員）

欠席者 5名

- ・県北支部 佐藤 和宏（代議員：高萩市）
- ・中央支部 大平 徳子（理事：大洗町）
- ・鹿行支部 野口 桂子（代議員：行方市）
- ・県南支部 岡崎 博之（職連協副会長・理事：石岡市）
- ・県西支部 仁平 直美（代議員：筑西市）

1. 開 会 事務局 篠原推進員

2. 挨拶 柴田委員長

3. 議事録作成者決定 県南支部 中村 真聡（代議員：かすみがうら市）

4. 協議事項

答申書素案の検討について

以下の通り訂正修正を行う。

- 英数字は全角に統一する。
- 「市町村社協」の表記はせずに「社協」に統一する。

第1章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからを考える委員会の設置の背景

○文頭 ⇒ 2回目の茨城国体の表記を入れるか検討。言い回しは事務局におまかせ。

○第2節「社協のありかた」⇒「社協のあり方」

○第4節「答申がされました」⇒「答申がなされました」

○第5節「代議員を出せない支部」⇒「代議員を選出できない支部」

## 第2章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の現状と課題

○グラフ、表の設問の回答選択肢「ア)イ)ウ)エ)オ)」取る。

### 1 職連協の加入状況

○第2項目「IT化による新たなネットワークが構築され」⇒「SNSの普及により」  
「上記の」⇒「このような」  
「市町村単位」⇒「社協単位」

### 2 職連協の重要な役割

○円グラフの「わからない%」の表記を円グラフの外に出す。  
○第4項目「ネットワークづくりなどなど」⇒「ネットワークづくりなど」

### 3 職連協の優先すべき事業内容

○自由回答2つ目「周知徹底」⇒「職連協の周知徹底」

### 4 職連協に加入して良かったこと

○円グラフ回答イ)の%を入れる。  
○1項目「コト」⇒「こと」  
文の区切りに読点「。」をつける。  
○2項目『②の「職連協の重要な役割」』⇒「2 職連協の重要な役割」  
○3項目「変わって来ている」⇒「変わってきている」

### 5 その他

○節題名「その他」⇒「現状と課題からの方向性」  
○2項目「半数程度」⇒「約5割」  
「結果である」⇒「結果でありました」  
「結果であった」⇒「結果でありました」  
○3項目「上げられました」⇒「挙げられました」

## 第3章 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの方向性に沿った取り組み計画

○「年度から年度」表記を「令和年度～令和年度」に統一。  
○冒頭「下記のとおり」⇒「次のとおり」  
○1. 計画の目的「県社協と共に」⇒「県社協とともに」  
○3. これからの方向性に沿った取り組み計画

### (2) 第Ⅱ期(令和3年度から令和4年度)取り組み計画

#### ア 研修会内容の検討

「中心に意見交換や交流会形式の研修開催を検討します。」⇒  
「中心とする意見交換会や交流会形式の研修会を検討します。」

□内「●」⇒「□」

「ネットワークやつながりを意識した研修」⇒「～研修会」

「話し合いを中心とする意見交換や研修会」⇒

「～意見交換会や研修会」

○職連協のこれからの方向性に沿った取り組み計画表の「●」⇒「○」に変更。

## 5. 閉 会 柴田委員長